

病虫害発生速報

令和3年3月17日
第2号

対象作物：りんご

発信元 山形県病虫害防除所
TEL 023-644-4241(内陸)
0235-78-3115(庄内)

題名：りんごの生育に合わせた 黒星病の休眠期防除・伝染源対策の徹底を！

1. 発生概況及び今後の予報

- (1) 令和2年10月に実施した調査では、新梢先端葉の葉裏に新たに黒褐色のシミ状の病斑が発生している園が広く確認されており、園内の越冬伝染源量が高まっている恐れがある（写真1）。
- (2) 向こう1か月の天候は、気温が高く、降水量は多いと予報されており、りんごの生育が早まることが予想される（発芽期（ふじ）：平年；4月3日、前年；3月29日）。
- (3) 3月15日現在、子のう胞子の初飛散（4か年平均：4月6日、前年：3月22日）は確認されていないが、今後の天候により例年より早まる恐れがある。

2. 防除対策

- (1) 計画的に剪定作業等を進め、防除時期を失することがないように休眠期防除を確実に実施する。
- (2) 前年の被害落葉は伝染源となるため、落葉の処分や堆肥散布による落葉の被覆等により、園内の伝染源密度の低下を図る（写真2）。



写真1 前年秋季に見られた葉裏の病斑



写真2 伝染源となる前年の被害落葉

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準（適用作物、収穫前使用日数、使用回数等）を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。